



平成 30 年 3 月 20 日
第 19 号 (春号)
南つくし野小学校
南つく蝶プロジェクト

蝶プロの今年度の活動も終わりました。ご参加、ご協力ありがとうございました。
3 学期の活動を紹介します。

第 8 回 1 月 20 日 おもしろ昆虫大集合

昆虫研究家の吉谷明憲先生に昆虫のおもしろい形や生活について教わりました。先生が撮影した写真を見ながらお話を聞きました。写真はテントウムシに見えるアオバセセリの幼虫の頭です。

第 9 回 2 月 6 日 顕微鏡をのぞいてみよう

顕微鏡を使つての勉強会でした。まず、酵母を観察しました。そのあと、中庭の池から水を採つてきて顕微鏡を使い微生物を探しました。顕微鏡を使うことでふだん観察できないとても小さな生きものを見ることができました。

第 10 回 3 月 10 日 春の花だんの準備

蝶を呼ぶために花のタネと苗を植えました。
校庭の三角花だんにムスカリの球根とミヤコワスレの苗を植えました。
中庭のプランターには、百日草、コスモス、アスター、マリーゴールドなどの花のタネをまきました。
ストックの苗も植えました。5 月ごろから咲きます。蝶が飛んできたら、教えてください。



おもしろ昆虫大集合 (1/20)



顕微鏡をのぞいてみよう (2/6)



三角花だん (3/10)



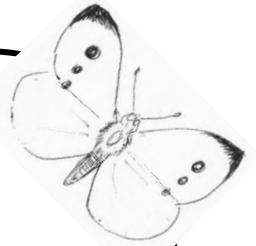
ストックの苗 (中庭) (3/10)

蝶プロのお手伝いに来てくれていた二人のお兄さんたちが、それぞれ高校や大学を卒業しました。

これからは、あまり活動に参加できなくなりますが、高校生のお兄さんから、お便りが届きました。

蝶のりんぷん

奥岸 諒



春といえば蝶の季節ですね。

皆さんの中には蝶を捕りたいという人もいないのでしょうか？

ところで皆さんはなぜ蝶が好きなのでしょう。多くの方はきれいだからと答えると思います。それではなぜ蝶はきれいなのでしょうか。

蝶にはりんぷんという小さい粉がついています。これには、水を弾いたり、動物に食べられないように地味な色だったり、目の形をした模様だったりさらに空を飛ぶために空気の抵抗を少なくする役目があります。

次に、何でりんぷんがきれいなのかというと、りんぷんにはキチンというカニのこうらにも使われている硬いものと色々な色素がまざって、それが私たち人間には、色がついているように見えるからなのです。

しかし、ここでアゲハチョウを例に出してみましよう。幼虫のときは緑色なのに、成虫になると黒や赤、青などのりんぷんが並んでいます。これはいつ変わったのでしょうか。

実はりんぷんはサナギの内側の細胞という小さいつぶが集まってできています。幼虫はサナギの中で一度どろどろに溶けて内側の細胞をけずりながら成虫になっていきます。

つまり、成虫になって一度りんぷんが失われたらもう戻らないということです。そうすると、もう二度と空を飛べないし、そのまま虫に食べられてしまうことがほとんどです。これから皆さんが蝶を捕るときはこのことを思い出して、やさしく蝶を捕まえてくれるとうれしいです。



蝶プロに参加してくれる卒業生のお兄さん、お姉さんを募集中です。

チョウの目撃情報のほか、活動の感想や質問も待っています。



『南つく蝶プロジェクト』で検索してね。 <http://butterflygarden.sunnyday.jp/>

活動報告やチョウレポートなどを公開しています。昨年度の活動報告もありますので、参考にしてください。